

移住した皆さんに
インタビュー

ようこそ 小野町

これまでご紹介してきたように、小野町には10年ほど前から、田舎暮らしに憧れて、都会から多くの方が移住してきています。

現在も、役場に田舎暮らしを希望する方からの問合せが頻繁にあり、関心の高さがうかがえます。今回は、昨年移住したばかりの方をご紹介します。

◆いつ小野町へ移住しましたか？

昨年の5月に東京から移住しました。

◆なぜ移住しようと思いましたか？

サラリーマンとして東京で働いていましたが、定年後の暮らしをどうするかを考えたことがきっかけでした。

毎日ぶらぶらと過ごすのは避けたかったし、東京で再就職できる仕事は限られていると感じました。田舎で何かをやろうと決めて、様々な土地を見まわりました。



大塚政男さん（塩庭）

◆なぜ小野町に住むことを決めましたか？

小野町の土地を紹介してもらったときに、小野町には都会から移住した方がたくさんいると聞き、閉鎖的な町ではないのだろうと感じました。

また、東京からの距離も遠すぎず、日帰りもできること、地震に強い地盤であることも魅力でした。



「農作業の後の一杯は格別です。自分で作ったものでつまみが作れたら最高ですね」と大塚さん。ハウスのトマトは収穫間近でした。

◆町の印象はいかがですか？

東京では、保護者や職場のつながりなどはありましたが、地域のつながりはあまりありませんでした。

小野町は地域のつながりを大切にしていると感じています。

なるべく地域行事には参加するよう心がけています。

◆移住後の暮らしはいかがですか？

移住後の生活のイメージを固めていたわけではありませんが、地元の方に教えていただきながら、畑をやっています。今は失敗の連続ですが、いずれは農家らしくなりたいと思っています。

小野町は農業の町だと思います。農業で町おこしができればいいなと感じています。

お忙しい中、インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。